

第27回 横浜市会議会のあり方調査会議題

平成17年12月5日（月）14時
市会棟1階小会議室

1 本会議のテレビ放映のあり方について

2 その他

○次回日程： 12月 日（ ） ～1階 小会議室

横浜市会 議会のあり方調査会報告（第7回）（案）

本調査会は、市会運営委員会の諮問事項である「インターネット中継実施に伴う、効果的かつ分かりやすい本会議のテレビ放映のあり方」のうち、平成17年第4回定例会における本会議のテレビ放映の対応についてまとめたので報告する。

《インターネット中継実施に伴う、効果的かつ分かりやすい本会議のテレビ放映のあり方（その1）》

1 検討の経過

本調査会は、「インターネット中継実施に向けての計画化とこれに伴う議会運営のあり方」について諮問を受け、平成17年9月13日に市会運営委員会にて、最終報告（第6回報告）を行った。

その報告の中では、『定例会中継などのテレビ放映については、より一層多くの市民に視聴され、効果的な放映となることが望まれること、インターネット中継実施に伴う本会議における質問人数の増加によって、現行の各会派の割り当て時間では議員1人当たりの放映時間が短くなることがあり、審議状況をより分かりやすく放映する観点から検討を要する場合があること』を指摘した。

その後、団長会議及び市会運営委員会の協議の結果、改めて「インターネット中継実施に伴う、効果的かつ分かりやすい本会議のテレビ放映のあり方」について諮問を受けることとなった。

当該諮問を受け、本調査会では、

- (1) より一層多くの市民に視聴される効果的な放映
- (2) 審議状況がより分かりやすい放映
- (3) 本会議のテレビ放映とインターネット中継のすみわけ

の3つの視点から、本会議のテレビ放映の見直しを検討しているところである。

現在のテレビ放映については、一般質問のみを対象として、質問と答弁を中心とする内容の60分番組として構成していることや、「議会だより」やインターネット中継等と内容が重複していることなどによって、さきの3つの視点から見ると課題があり、今後は、視聴者にとって議会の審議状況等をより分かりやすく、効果的に伝えられる番組とするよう、抜本的かつ総合的に調査・検討を進めることで認識が一致した。

一方、平成17年第4回定例会から本会議における質問者が最大17人になることに伴い、質問者全員を紹介し、その様子を分かりやすく放映するためには、現行の放映時間の範囲内で必要な時間をどのように確保するかについて見直しを図ることは避けられない課題である。

そこで、本調査会は、平成17年第4回定例会に向けて、必要不可欠な当面の本会議のテレビ放映の時間構成について、早急に検討を行うこととした。

2 検討の結果

- (1) 平成17年第4回定例会の「市会中継」については、質問者全員を紹介し、その様子を分かりやすく放映できるよう、発言上限者数17人に合わせた放映時間の構成とする。
- (2) 放映時間の配分については、これまでの各会派の質問に係る放映時間を確保できるよう配慮する。
- (3) 当該番組は議会広報であるという観点から、これまでの質問と答弁の放映時間の構成を見直す。

とのことで意見の一致を見た。

なお、本調査会は、平成17年第4回定例会における本会議のテレビ放映の対応は当面のものであることから、今後さらに、視聴者にとって議会の審議状況等をより分かりやすく、効果的に伝えられる本会議のテレビ放映について引き続き検討を進める。

平成17年 月 日

横浜市会 議会のあり方調査会

座長 藤代 耕一 (自民党)
副座長 森 敏明 (民主党)
" 仁田 昌寿 (公明党)
委員 横山 正人 (自民党)
" 古川 直季 (自民党)
" 高梨 晃嘉 (民主党)
" 加藤 広人 (公明党)
" 杉山 典子 (ネット)
" 中島 文雄 (共産党)
" 若林 智子 (無所ク)

都市名	インターネット	テレビ広報の内容	内容	放送局
東京都 本会議 及び 予特・決特 (生・録画)	①本会議中継 ②一般質問及び代表質問 ③都議会の焦点 ④都議会討論番組 ⑤各会派代表者討論番組 ⑥常任委員会紹介番組 「TOKYOほっと情報」 ⑦新年特別番組	①本会議中継	初日及び最終日は全て生放映	MXTV
		②一般質問及び代表質問	ダイジェスト版で、直近の土曜日又は日曜日に放映。一般質問（ダイジェスト3時間番組）、代表質問（ダイジェスト2時間番組）。年間9回放映	MXTV
		③都議会の焦点	代表質問前日に定例会のポイントを解説する30分番組。年間5回+再放映5回の計10回放映	MXTV
		④都議会討論番組	都民の関心の高い問題を取り上げ、都議会議員と都民による討論を放映する60分番組。年間5回+再放映5回の計10回放映	MXTV
		⑤各会派代表者討論番組	各定例会ごとに幹事長、政調会長等が出演し、定例会の焦点や都政の重要課題について討論する50分番組。年4回放映。	テレビ東京
		⑥常任委員会紹介番組 「TOKYOほっと情報」	常任委員会の活動状況、課題などについて委員長、各会派代表委員のインタビューを交えてレポートする50分番組。年5回放映	テレビ東京
		⑦新年特別番組	新年を迎え、正副議長がゲストを交え、新年の抱負、都政の課題、展望を語る25分番組。年1回放映	テレビ東京
		計		

都市名	インターネット	テレビ広報の内容	内容	放送局
埼玉県	本会議及び予特 (生・録画)	議会広報テレビ番組 「こんにちは県議会です」	新春インタビュー、会派政務調査担当に聞く、会派代表者に聞く、議会ダイジェスト、委員会活動紹介を日曜日の午前10時頃放映（15分番組25本、30分番組1本）	テレビ埼玉
滋賀県	本会議 (生・録画)	滋賀県議会提供のテレビ広報番組 「委員会活動リポート」「県議会リポート」	議会・委員会制度紹介、議会運営委員長・各会派代表インタビュー、正副議長インタビュー、委員会レポートを土曜、日曜の午後6時頃放映（15分番組5本、30分番組1本）	びわ湖放送
大阪府	本会議 (生・録画)	「Let's府議会」	大阪府議会の活動を紹介する広報番組をテレビ大阪で月曜日の午前10時頃放映（30分番組8～9本）	テレビ大阪
大阪市	本会議 (生・録画)	「私たちと大阪市会」	正副議長の新春対談、市会の活動状況、各会派の考え方などを取り上げる30分番組。年6回放映	テレビ大阪 (19ch)

大阪府議会テレビ広報「Let's府議会」について

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
大阪府議会 (定例会報告)	オープニング	定例会概要	代表質問(約6分) (5会派)					一般質問(約13分) (18人分)													常任委員会審議概要 (約5分)					議案の賛否	エンディング	お知らせ	
※本市会では議案関連質問に当たるものです。					①質問(約20秒) 映像及び肉声 ②答弁(約30秒) 映像及び肉声 ③質問概要等(約40秒) ナレーション及び関連映像等の挿入													審議映像及びナレーション (約35秒)					× 5会派					× 18人	× 8委員会

- ①放送局 テレビ大阪 「Let's 府議会」
- ②放送 収録後、概ね30日以内(月曜午前10時頃)に放映。
- ③その他 放映後、議会ホームページで公開

○ 参考

【一般質問の放映状況】

自民7人、民主・無所属ネット4人、公明3人、主権おおさか2人、共産2人 計 18人

【会派構成】

自民40人、民主・無所属ネット25人、公明23人、主権おおさか9人、共産9人、社民2人、市民クラブ1人 計 109人

tvkテレビ市会中継の見直しについて

I. 他の広報手段との関係

- インターネット中継との内容の重複をどのように考えるか
- 議会だよりとの内容の重複をどのように考えるか

II. 番組の性格

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○事前に当該定例会の主要案件を紹介することにより、本会議傍聴の促進や事後の番組の視聴率向上等を目指す番組 ○本会議の生中継 ○事後的に議会の審議状況を伝える番組 | <ul style="list-style-type: none"> → ○事後の番組等、他の広報手段と組み合わせることで効果的 → ○ネット中継と重複 → ○一般的であり、単独で放送することに向いている |
|--|---|

III. 検討のポイント

(1)収録の対象・方法	<ul style="list-style-type: none"> ○収録内容に関して、質問・答弁以外の部分について検討する必要はないか ○質問や答弁などの放映方法をどのように考えるか
(2)放映の日時・長さ	<ul style="list-style-type: none"> ○他のTV局との競合を考えた場合、ゴールデンタイムの放映が効果的と言えるか ○視聴者の見やすい長さを考えた場合、60分番組(1定は85分番組)でよいか
(3)CATV	<ul style="list-style-type: none"> ○再放映の回数や時間帯をどのように考えるか ○収録・編集の段階からCATVを活用した番組とすることはどうか